

妹がいたらなあ

目が覚めてから五時間ほどたってから起きた。

「きっと一時すぎだろうなあ。」
 と思いつつながら
 博物館一步手前の、昔からある
 古い往時計を見ると、
 何とまだ十一時半。

今日は、早く起きたもんだなあと思つて、
 コタツに入り、テレビをざぶろり、
 夕べは一時すぎに寝たのに。

腹は減っていない。

お母ちゃんがもち七つ焼いて、
 部屋へ持ってきたのを食べたからだ。

何時だったか知らない。
 朝のこと。

曾我と大島がひょっこり家に来た。

それで僕も暇だったので、
 一緒に、宇治の宮村先生のお宅へ
 遊びに行く事にした。

宇治川沿いを、正月の義員電車で行く。
 窓の宇治川はきれい。

